

日本メンタライゼーション研究会 第5回学術集会

様々な職種でのメンタライゼーション ～協働の難しさを共に考える～

会長 | 崔 炯仁
実行委員長 | 石谷真一

特別講演：様々な影に潜む不信を引き出す
- 多職種の共同で創る認識的信頼

Gerry Byrne

Founder/Director MBT-Lighthouse Project

入門セミナー：「Not Knowing Stanceを体験しよう」
崔 炯仁

大会テーマ シンポジウム

シンポジスト：足利安武 山脇瑞花 野村裕美 大川満里子

指定討論：白波瀬丈一郎

2026年2月21日(土)～2月22日(日) 同志社大学
新町キャンパス

参加費 | 会員 一般 6,000円 学生 4,000円
非会員 一般 9,000円 学生 7,000円

京都市上京区新町通今出川上ル
近衛殿表町159-1

参加資格 | 守秘義務を有する専門職および
専門職訓練を受けている大学院生

学術集会URL | <https://mentalization.umin.ne.jp/gakujutsu.html>





日本メンタライゼーション研究会 会長ご挨拶一部（全文はHPに記載）

心理療法として開発されたメンタライゼーションですが、それは異なる人同士、患者と治療者、家族同士、グループ、多職種、多機関の人同士が共にところを見る姿勢として重要性を増し、医療だけでなく福祉、学校教育、保健へと分野を広げています。実践する人たちの中には発見と、協働することの難しさの経験が蓄積しているでしょう。これからメンタライゼーションに触れ、実践しようという方にも学んでいただけるプログラムも充実させてご参加をお待ちしております。

日本メンタライゼーション研究会 会長 崔炯仁 / いわくら病院

【プログラム紹介】

特別講演「様々な影に潜む不信を引き出す：多職種の共同で創る認識的信頼」

不信は私たちの組織や専門職の役割の影にはびこり、しばしば患者／クライアント／ケアを求める人々の影に潜む過去から噴出する——時に私たち自身の影と交錯しながら——この講演では不信を明るみに出し、健全な不信を信頼すべき時とは何か、人間関係の自然光のもとで信頼と不信の均衡をいかに築くかを探求する。

Mistrust flourishes in the shadows of our institutions and our professional roles, and erupts, often, from the shadowing pasts of our patients/clients/careseekers - sometimes interacting with our own shadows - this talk will bring mistrust out into the open and explore when it is good to trust in healthy mistrust and how to establish a balance of trust/mistrust through the natural light of human relations...

シンポジウム 様々な職種でのメンタライゼーション ～協働の難しさを共に考える～

シンポジスト：足利 安武 (児童福祉), 山脇 瑞花 (司法), 野村 裕美 (社会福祉), 大川 満里子 (教育)

指定討論：白波瀬 丈一郎 (医療/産業保健)

司会：池田 暁史、中西 桃子

入門セミナー：『Not Knowing Stance(不知の姿勢)を体験しよう！』講師：崔 炯仁

一般演題：会員のみなさまからの研究や実践の発表をお待ちしています。

会員自主企画：今年度より新設します。会員の自主的な交流、ディスカッション等が目的です。形式は、シンポジウム、ワークショップ、事例検討を選択できます。

ワークショップ：例年好評の体験プログラムです。「今年もやります！ThinkingTogether」

2月22日(日) 17:00～19:00 学術集会終了後 Gerry先生による特別ワークショップを行います。ロールプレイを行います。会費2,000円。詳しくはホームページをご覧ください。

【お申込み】

・参加お申し込み 2025年10月15日～2026年1月31日

学術集会HPのフォームよりお申し込み下さい。

・一般演題・会員自主企画募集期間 2025年10月15日～11月30日

学術集会HPにて所定書式をダウンロードし、ご応募ください。

【お問い合わせ】日本メンタライゼーション研究会

事務局 mentalization.office@gmail.com

